

第五回『勾玉寄席』

～大衆演芸の良さと“賑わい”を大切にした寄席の一日～

◎昨今、メディア演芸による一方通行になりがちな芸能文化ですが、本来は大衆演芸の良さである老若男女を問わない出演者と観客とが、身近に楽しめる大衆演芸(寄席)こそ芸能文化の原型だと考えます。

歴史を少し遡りますが、明治から大正・昭和の初めにかけて、玉造は「上方演芸のふる里」と呼ばれていた時代があり、五つの寄席と三つの映画館などがひしめく一大繁華街でありました。

当時の寄席は、庶民の娯楽のひとつとして大いに賑わい、老若男女が楽しめる場所でした。

そんな古き良き大衆演芸の文化を絶やすことなく現在に継承できればと願い、秋田實氏がこよなく愛した玉造の地において、年に一度限りの企画として、寄席を敢行させていただいております。

過去の同催事に触れ得た教訓を活かし、更なる寄席文化普及に貢献すべく、下記内容にて第五回『勾玉寄席』を催す運びとなりました。

寄席を執り行うにあたり、貴重な時間ならびに資料を快く御協力くださいました、

- ◆ 玉造稲荷神社 禰宜 鈴木 伸廣 様、
 - ◆ 玉造・日の出通り・三光館 著者 藤田 登美恵 様、
 - ◆ (財)大阪市農業センター(なにわ伝統野菜) 事業課長代理 山田 和彦 様、 ほか
- 様々な方からの応援の声をいただき、その気持ちに応えるべく恒例の寄席として励んでまいります。

良いと思われる文化は残されるべきだと純粋に願い、寄席文化の良さを、現在から未来に普及する一役を担える喜びと責任を形として残せるよう励んでおります。より多くの方に足を運んでいただけるよう、理解を示していただければ幸いと、御案内させていただきます次第です。

MAGATAMA 広報 田中 真澄

タイトル●勾玉寄席

日 時●平成 19 年 10 月 14 日(日)

午後一時会場 第一部開演(午後 2 時から午後 5 時)

第二部開演(午後 6 時から午後 9 時)

場 所●MAGATAMA dining×café (大阪市中央区玉造 1-4-14 Tel/Fax 06-6765-8911)

演 目●保育園児から 70 代までの出演者たちが世代を超えて夢の競演

漫才(若手漫才師による笑いの競演。爆笑必至)

南京玉すだれ(江戸時代からの庶民文化。曲芸師の妙技をご覧ください)

紙芝居(立体創作紙芝居! 懐かしくも新しい…、心温まる時間が流れます)

腹話術(人形なのか人間なのか? …ライブならではの錯覚に)

手品(マジックの競演!! 驚きと不思議!の世界)

フットバック(おてだまを足で!?華麗な足技を繰り出すストリートパフォーマンス)

ジャグリング(空中ヘトス! パフォーミングジャグラーたちの競演)

けん玉(老若男女、世代を超えた交流を目指せ!)

創作落語(宮沢賢治の物語をアレンジ!)

こども落語「さけのかす」(大阪弁で笑いをおりなす中学生による落語)

こども朗読劇「じごくのそうべえ」(小学 3 年～保育園児までの子供たちによる朗読)

安木節どじょうすくい(懐かしい音楽とひょうきんな踊りを映像でお楽しみ下さい) [VTR 出演]

演 出●映像音響(当日のライブ映像を懐かしくも新しい音響にあわせて楽しめます)

入 場 料●御一人様 五百円(おつまみバイキング付)…入退場自由

※ 当日(幕の内)は、なにわの伝統野菜を用いたおもてなし料理をご用意いたします。

※ 入場制限は特にございませんが立ち見の場合は御了承願います。